

秋晴れの一日を満喫

元気かんだき市民交流祭

市民相互の親睦と融和を図り、市の活力を高めようと「元気かんだき市民交流祭」が、11月8日に吉野ヶ里歴史公園で開かれました。

第3回となる今回は晴天に恵まれ、汗ばむほど。ステージや広場でのイベントをはじめ、特産物の販売、体験コーナーなどが設けられ、大勢の市民が秋の一日を満喫しました。



午前9時からの開会式に続き、ステージイベントのトップを切って元気いっぱいの子供踊り。その後、市民の歌の表彰と歌の披露が行われました。
子どもたちの人気を集めたのがドラえもんショー。おなじみのキャラクターが演じるユーモラスな仕草に、会場は歓声や笑い声が絶えませんでした。また、有田町出身の有田いま里さんの歌謡ショーも、予定外のアンコールに込えるの熱演となりました。



神埼市の歌を披露

合併で誕生した神埼市を象徴する市の歌（イメージソングと音頭）が完成しました。交流祭では、作詞でそれぞれの最優秀賞、優秀賞に選ばれた方の表彰が行われ、さっそく会場で披露されました。

いずれも明るく輝くふるさとと光景や豊かな歴史と文化が織り込まれています。イメージソングは親しみやすいメロディーで、コーラスグループの合唱に合わせ、客席からも歌声が流れました。また音頭は、踊りと一緒に披露され、明るく軽やかなリズムに乗って手拍子の音も聞かれました。

広場で市民総踊りが繰り広げられ、婦人会や舞踊団体の輪の中に市民も参加。大きな踊りの輪が広がりました。
歌は、今後、市主催のイベント、行事などで活用していきます。



イメージソング

「MY DEAR 神埼」

作詞・南英市
作曲・榊原広子
編曲・榊原政敏
制作委員会
曲渡辺雅二

1. 目覚めたばかりの朝の陽に
脊振の山並み 光る雲
大地をうるおす 城原の
流れもきらめく 四季がある
MY DEAR ふるさと 神埼は
みんないきいき 集うまち
2. 笑顔がかなでる 人の和に
温もりあふれる 菱の郷
働く今日の歌声も
弾んで明るい 明日がある
MY DEAR ふるさと 神埼は
みんなよろこび 励むまち
3. 弥生の昔も 今の世も
夕日に染まる 神の里
歴史と文化が 馥郁と
香りもゆかしい 華がある
MY DEAR ふるさと 神埼は
みんなしあわせ 築くまち
MY DEAR ふるさと 神埼は
みんなしあわせ 築くまち



交流祭では、地区対抗の競技も行われました。

玉入れ競争では、投げる役と拾う役を分けるなど工夫するチームもあり、入った玉を数える時には一喜一憂の光景が見られました。

また、丸太転がしリレーでは、思わぬ方向へ転がる丸太に苦戦する姿に声援のボルテージも上がりました。成績は次のとおりです。

【玉入れ競争】

久保山（脊振町）、姉川上分（神埼町）、岩政倉今（脊振町）

【丸太転がしリレー】

石井ヶ里（神埼町）、野田（神埼町）、的（神埼町）

「どこまで伸びるかんざき麵」は、ご当地・神埼らしいイベント。製麺機械で延ばしたうどんを来場者が手に持って、どこまで切れずに続くか試みましたが、約500メートルのうどんが出来たところで、用意した生地がなくなり終了。手に持った分は切り分けてプレゼントされました。



イベントのほか、会場には地元特産物、尾崎人形絵付け、勾玉づくり体験、地元企業紹介、西九州大学の食育レストランなどのブースが設けられ、脊振中の「こんにやくアイス」、神埼清明高の「そお？めんパンだ」などユニーク商品販売もありました。また、みんなが公園清掃を行い、J-Tからエコバックが贈られました。

締めくくりは「おたのしみ抽選会」。テレビをはじめ、掃除機、デジタルカメラ、特産物などたくさんのお賞品が用意され、最後までにぎわいました。



音頭

「よかね神埼」

作詞 石井昭吉
補作詞 制作委員会
作曲 編曲 石橋序佳

1. 緑輝く 脊振の山に

かかる虹の輪 幸せ運ぶ(あつそれ)
みんな揃って 楽しく踊る
笑顔あふれる 明るいまちよ
桜花咲き 稲穂が笑る(よいしよ)
よかね 神埼 虹を呼ぶ
よかね 神埼 虹を呼ぶ
(あつ それぞれ)

2. 風が奏でる 弥生の歌に

夢が煌めき ときめく心(あつそれ)
祭囃子に 櫛田の杜よ
浪漫あふれる 歴史のまちよ
紅葉彩り 華やき添える(よいしよ)
よかね 神埼 夢を呼ぶ
よかね 神埼 夢を呼ぶ
(あつ それぞれ)

3. 城原川に 若鮎踊り

絆織りなす 次郎の里よ(あつそれ)
心合せて 未来を拓く
人と自然が 輝くまちよ
希望 あふれて 世界へ伸びる
(よいしよ)
よかね 神埼 明日を呼ぶ
よかね 神埼 明日を呼ぶ
(あつ それぞれ)